

隣接する萩図書館とコラボし、蔵書の中から災害・防災・減災に関する書籍を集めた企画展を実施。大人が利用する図書館本館と、児童館内の子ども図書館でそれぞれ行った。



- ・ハンドマッサージ体験
- ・助産師が語る防災話

まちかどネウボラの助産師派遣助成を活用し、助産師を配置。子ども子育ての相談受付や、育児と防災の心得、災害に備えること、発災時に気を付けること、被災した後のメンタルケアや支援してくれる団体組織があることなどが話されていた。



- ・2013. 7. 28 萩市東部集中豪雨災害パネル展（10月11日～10月29日）
萩市防災危機管理課が発災10年を期に制作したパネルをお借りし、イベント当日以外にも展示。10年前の様子を、特に大人の方は関心をもって巡る姿が見られた。
- ・災害ボランティアセンター活動記録パネル展（10月11日～10月29日）
萩市社会福祉協議会が萩市東部集中豪雨災害を期に制作した、当時災害復興で活動したボランティアや企業の活動記録をイベント当日以外にも展示。被災ゴミの扱いなども紹介。



- ・災害ワークショップ～ホイッスル付きパラコードブレスレット～
(①10:30～11:10 ②11:30～12:10 ③13:00～13:40 ④14:00～14:40)
防災士が講師となって、身につけられる防災ブレスレットづくり。いざというときにホイッスルとして、ロープとして、そして火種としても使えることを作りながら説明。すべての時間で定員いっぱいとなった。



・非常持ち出し袋展示

非常持ち出し袋の中に何を詰め込んだらよいのか、100円均一の商品を中心に実物を展示。

2つ用意し、一つは実際に担ぐことができ、子どもたちは大人一人分の重さに驚いている様子だった。

機会があれば、想定状況別に中身を入れ替えたものを作りたいと考える。

・防災ジャパングプロジェクト広報ブース

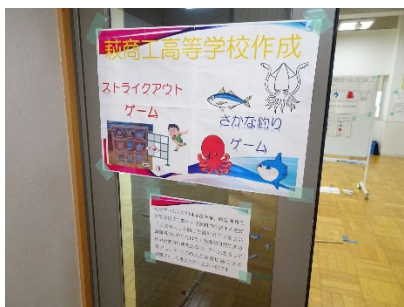
損保ジャパンが展開している防災事業の紹介をパネルとモニターで実施。



・3Dプリンターで遊ぼう

・萩商工高校作成「地域の人と協働した高齢者に心地よい避難所づくりにむけて」課題研究ゲーム（さかなつり、ストライクアウト）

市内の萩商工高等学校生が課題研究として考えた遊びを体験。避難所ですべての人が快適に過ごせるか課題を考え、ゲームを通して交流を深めるというゲームの一部を体験できた。



・eスポーツ体験・マリオカート大会（10：30～12：30）

・体験型サッカーゲーム（13：00～15：00）

・防災サバイバル・プログラミング・ハッカソン（10：30～13：00）

ハッカソンとは、ソフトウェアやプログラミングについてテーマを設けてみんなで検討をするという意味。防災をテーマに最新機器を使ってどんなことができるか、そのためにはどんなプログラムやアプリが必要かということを経験した。山口大学の講師や大学生とともにマイコンを使ってプログラムを書き込み動作させたり、ドローンを飛ばしてみたりなど、子どもたちにエンジニア、プログラマーの楽しさを体感してもらっていた。



- ・VRゲーム体験ブース、英語発音採点ゲーム「Let's Speak English!」

○中央公園エリア

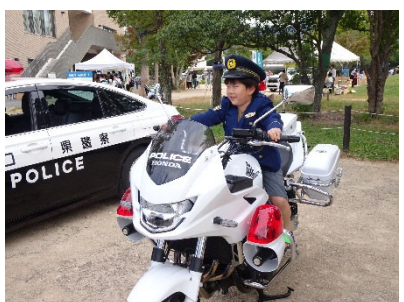
- ・楽しく外遊び（シャボン玉、ヨーヨーつり、さかなつり、わなげ、ボウリング、ボール遊び、ダンボール遊び）
- ・煙中体験

防災危機管理課の紹介で消防本部よりお借りした煙中体験用テントに煙を発生させ、火災時の正しい行動について体験をしてもらう。一日でのべ500人弱も体験するなど、人気のブースとなった。



- ・グラウンドゴルフ体験
- ・モルックで遊ぼう
- ・自転車おそ乗り競争
- ・災害時活動車両展示・乗車体験（パトカー、白バイ、消防車、自衛隊車両）

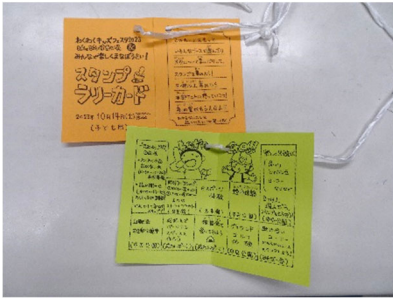
災害発生時・復興時に活動する車両を展示。コロナ対策も緩和されて、乗車体験や衣装を着て写真撮影ができるようになり、年代を問わず人気のブースとなった。今年は初めて自衛隊関係者も参加し、来場者の数と反応に驚かされていた。



○萩わんぱくエリア

- ・本部テント（総合案内、防災スタンプラリー、アンケート）

館内外の各ブースをめぐるスタンプラリーを実施。全10か所のうち5ヶ所でスタンプを集めて本部テントにて100均の防災グッズやプチ景品と交換。今年は例年より多くの完走者がでて、650枚以上のスタンプラリー参加者のうち、約250人が景品と交換した。



・ダンボールでパーソナルスペースを作ろう

避難所を想定して、ダンボールで衝立やベッドなど自分が快適に過ごせるパーソナルスペースを作る。スタッフが試作したベッドなどを参考に、子どもたちが思い思いの空間を作っていた。



・EVカー非常電源活用デモンストレーション

・備蓄食（アルファ米おにぎり）を食べてみよう

あいおいニッセイ同和損保が三菱自動車からEVカーを借りて、災害時に電気自動車が非常電源として活用できることを紹介。扇風機が回ったり、希望者のスマートフォンを充電したりと実演した。備蓄食ではアルファ米おにぎりを実食体験。その他にも、飲食物の備蓄についてやローリングストックなどの紹介を行った。おにぎりがどこで買えるかなどの質問も寄せられ、特に保護者が関心を寄せていた。



・災害時活動車両展示・乗車体験・実演（バックホウ）

災害・復興時に活動する車両としてバックホウの展示・乗車体験・操縦体験を行った。大人の膝の上で操作を行い、畑の土を移動したり、穴を掘ったりと、子どもも大人も目をキラキラさせて動く様子を見ていた。



・スラックライン

・フードコート

○萩図書館エリア

- ・わくわく手話おはなし会

手話で語る昔話（10：30～11：00）

手話DEゲーム（11：00～11：30）

災害時の要配慮者である耳の聞こえにくい人たちの言葉「手話」を使って、昔話やゲームを体験した。



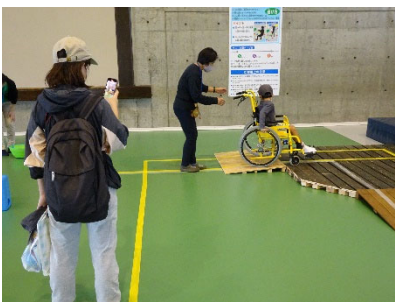
- ・企画展「始めよう防災」（9月1日～10月31日）



○あそぼ一舎エリア

- ・助け合いコーナー（車いす、白杖、高齢者体験）

萩市社会福祉協議会より器具を借りて、車いす体験、白杖体験、高齢者体験を行った。狭い道、坂道、デコボコ道などの道の状況や、後進、床のボールを拾って箱に入れるなどの動作を体験し、何もつけていない時と、それぞれの体験をした時にどう感じたかを話してもらった。段差やマットなどでの移動のしづらさと、介助者のありがたさを体験しているようだった。



- ・防災・減災かるた大会（①13：00～13：20 ②14：00～14：20）

あいおいニッセイ同和損保が所有する防災・減災かるたで、災害時の行動や防災・減災の取り組み方を、遊びながら学ぶ。午後に行った2回とも盛況で、答え合わせとともに防災士が解説を行っていた。問題が高学年向けだったので、低学年や園児が札を取ることは難しかったようだった。



・おまつり全体の様子はこちら

<https://tsunagaru-bousai-pj.net/wp-content/uploads/2023/11/0806ae3c589e56d6dc6555103198bc23-1.pdf>

☆防災ワークショップ事前研修会（10月11日（水））

当日スタッフとして参加する予定の学生・一般の方を対象に、「ホイッスル付きパラコードブレスレット」が作れるように防災士を招いて事前研修を実施。試験週間と被ったため高校生が参加できないというハプニングがあったが、一般・大学生が参加し、防災士と話をしながら和やかに作り方を学ぶ。

